

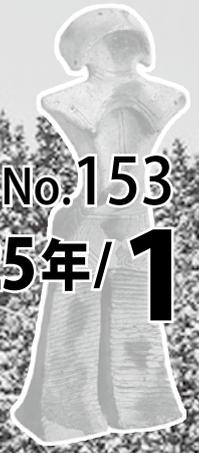


議会
だより

ふながた

No.153

25年/1



発行：山形県舟形町議会
平成25年1月25日



消防出初式（1月5日）



祝賀一斉放水

年頭の挨拶	2 P
臨時会・12月定例会概要	3 P
議案審議	4 P
一般質問	5～8 P
町民の声・所管事務調査	9 P
中学生議会	10～11 P
一般質問のゆくえ・議会活動・特別委員会	12～13 P
えがったなあ・編集後記	14 P



町議会議長 信夫正雄

新年明けましておめでとございませう。

町民の皆様には、健やかに輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

国会においては、昨年末の衆議院議員選挙により第二次安倍内閣が船出致しましたが、震災復興をはじめ、国民が将来に夢を持てるような国策を実践していただくことを願っております。

昨年は舟形町にとって「縄文の女神」が国宝に指定され、大変喜ばしい年となりました。今年はこの盛り上がりをも、更に実のあるものにしていかなければと思います。

また、議会としては「夜間議会」の開催をはじめ、「議会報告会」、「中学生議会」、「若鮎まつりや縄文の女神のTシャツ議会」等、開かれた議会を目指して取り組んでまいりました。

新たな年を迎え、私たち10人の議員は6千町民の代表として、これまで以上の役割と責任の重さを自覚し、決意を新たに町民の活性化と議会改革に取り組み、舟形町を更に魅力のある「まち」にするため全力を尽くしてまいりたいと思っております。これからもご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、町民各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

議長	信夫正雄
副議長	八鍬太
議員	叶内富夫
	野尻益夫
	大場清之
	加藤憲彦
	佐藤広幸
	斎藤好彦
	奥山謙三
	佐藤勇
事務局長	有路正文
主任	大場由美子

第6回臨時会 (10/19)
第7回臨時会 (11/12)
第8回臨時会 (12/19)
12月定例会 (4日~6日)

公共土木施設災害復旧事業(凍上災害)

7,425万円の減額補正予算 (次年度施工)

12月定例会は、4日から6日までの会期で開催され、4人の一般質問に続き、一般会計・特別会計の補正予算等、全議案を原案通り全員の賛成により可決しました。

(減額理由)
○県内同時発注になり、舗装材が不足したため一部来年度の工事となるため。
○補助金の交付決定が未定であるため。

主な事業

- 公共施設等耐震化事業……………430万円
(役場本庁舎)
- 創意工夫プロジェクト支援事業……………817万円
- 担い手育成総合支援事業……………529万円
- 農業用施設災害復旧事業……………536万円

※注1 冬期間の低温が原因で道路舗装面にひび割れなどが発生する災害。

主な付議事件

- 第6回臨時会 ○県後期高齢者医療広域連合の規約変更
- 第7回臨時会 ○物件購入契約(スクールバス)の締結
- 第8回臨時会 ○財産の取得(木友団地の宅地)
- 12月定例会 ○一般会計・特別会計補正予算
○町公共施設整備基金条例の設定
○町若あゆ温泉等並びに町ふれあい広場の指定管理者の指定

質疑 応答

定例会

一般会計補正予算

議員 地域支え合い除排雪活動支援モデル事業で、使用する除雪機械はこの地区に導入するの。また、貸し出しは可能なの。

まちづくり課長 10月中旬に町内会長代表と民生委員代表の方で話し合いをして、除雪機貸し出しについての公募を行なった結果、とら丸2台は洲崎町内会と大平町内会へ、ハンドガイド式の除雪機は長沢地区へ導入することになりました。

ハンドガイド式の除雪機は、除雪の要請を受けた団体等への貸し出しは可能です。



ハンドガイド式除雪機

議員 除雪機械格納庫整備事業における用地購入費の内容は。

地域整備課長 長沢地区の除雪機2台を格納するための格納庫建設用地(423㎡)の購入費です。格納庫建設費については、9月補正予算で計上しています。

議員 プロジェクト支援事業補助金817万円の内容は。

産業振興課長 雪の冷氣を利用し木材を乾燥する施設を沖の原地区に設置する事業です。

議員 ドクターヘリ導入に伴う、休日待機職員にかかる時間外手当の内容と今後の対応は。

総務課長 ドクターヘリ離着陸時の誘導・安全管理について、最上広域では市町村職員が対応することになっていきます。基本的には振替休日勤務で対応しますが25%については時間外手当を支給しています。当面、3月末までは町職員で対応する予定です。

議員 商工費の印刷製本費16万8千円と広告費126万円の内容は。

総務課長 商工費は縄文の女神が国宝に指定されたことを記念して、年賀状に縄文の女神の図柄を印刷したものを1万枚用意する費用にあてたものです。最終的に7800枚の売り上げがありました。広告費は、山形新聞の両開き全面広告に当てた費用です。広告効果は十分にあつたと考えています。

議員 若あゆ温泉地域にある薫風窯の施設と観光情報館の管理はどうなっていますか。

まちづくり課長 もがみ南部商工会から指定管理者である舟形町振興公社へ、2つの施設合わせて毎月15,000円を支払っています。

第8回臨時会 (12/19)

町有財産取得について

議員 木友団地宅地購入に至った理由は。

総務課長 現在町営住宅を借りている方々の中に、宅地、家屋購入を希望される声があり、今回土地の貸主である三菱マテリアルと合意できたので購入するものです。



木友団地



奥山 謙三 議員

「いじめ問題」の現状と対策は

関係機関と連携を図り対策を進める

質問 舟形町のいじめの現状、対策等について質問します。

①舟形町の小中学校においていじめはあるのか
②これまで、いじめに対しての調査または対策として、どのような取り組みがあったのか

町では認めているのか以上4点について、町長に質問します。

保護者の申出を尊重し教育委員会が認めています。今後ともいじめのない児童生徒の環境を保ちながら、平成25年度に統合される新舟形小学校の経営案を検討していますので、保護者、関係機関と連携を図りながら指導していききたいと思います。

町長 県に、流域住民や漁業関係者等が懸念する事業の必要性や環境、生態系について、今後も十分な調査と丁寧な説明を行い、理解と協力が得られるようお願いしました。基本は住民の安全・安心です。

県では流水型ダムを作る方針ですが、今後、地域住民や関係団体からしっかりと理解を得る努力を最後まで行なっていくべく、要望していききたいと思います。



授業風景 (舟形小)

③各学校において、いじめられた児童生徒を徹底して守り通す姿勢を明示し、いじめの児童生徒に対しては「社会で許されない行為は学校でも許されない」こと、自身が行なつたいじめについては、適切に責任を取る必要があることを教えます。

質問 県が赤倉温泉上流に建設を予定する「流水型六あきダム」の建設用取り付け道路の工事が始まりです。

当町の観光資源の重要な川となっている最上小国川上流への今回のダム建設には、賛成、反対の意見がある中で、町長の見解と今後どのように導こうとしているのか質問します。



齋藤 好彦 議員

雪どけよう町づくりを

地域支え合い事業の展開

【質問】 二年連続の豪雪に見舞われ、今年の克雪対策は万全なのでしょうか。各町内会と町と業者さんが事前打ち合わせをするなど、万全を期す必要があると思います。除雪状況についても、各町内会と町が連携して定期的に巡回するなどの対応も必

要であり、役場職員の地区担当制を設けるなどして、町と町内会と民生委員の方々が連携することによって、より充実した対応が可能になると考えます。冬本番を迎え「雪にっよい町づくり」について、町長の考えを伺います。

【町長】 道路の除雪については、住宅が密集している箇所は、土地所有者から承諾を得て投雪や堆雪をしています。排雪については通常は年一回、昨年のような豪雪の場合、投雪できない状況になればその都度排雪を行い、請負った会社や地権者と打ち合わせをして排雪時期や回数を検討していきます。また、高齢者世帯等の除雪支援の対象とならない方々に対しては地域で対応していただきた

取れるような仕組みづくりを内部で検討し実施したいと思っています。

ました。既存の築場では職員配置の問題、他の築場の競争、水道や営業許可の問題などがあり非常に難しいという意見が多数出されました。

【質問】 昨年、提案した「観光産業の振興策」は検討されたのでしょうか。舟形町の特性を活かし「温泉」を核として「縄文の女神」「鮎」「猿羽根山」を線で結ぶような、観光産業の振興に取り組みべきであると考えます。町長の考えを伺います。

観光産業の振興については、教育旅行などの体験型観光、「縄文炎祭」の開催や猿羽根山などの名所・旧跡を巡る「資源活用型観光」、若鮎まつりの生中継などを組み合わせたメディアによるPRと連携した「イベント型観光」を進めています。



地域支え合い事業による除雪

職員が地域担当制については、地域と連携を図ること、情報提供を行うことは大切なことですので町内会長、民生児童委員、地域の方々と連絡が

【町長】 築場3団体、町内飲食店7業者及びゴルフ場、若あゆ温泉、小国川漁協の関連団体から参集していただき「天然鮎を食えることができ、釣り情報の提供、鮎の特産品を扱うことができる施設」について協議を行い

これらは、行政主体から民間主導型に改革を進める必要があります。その担い手となる関係団体とより一層の連携を図りながら振興していきたいと思



八鍬 太 議員

職員環境の見直し整備を

検証し検討を進める

【質問】 最近、新聞等のマスコミ報道の中で、近隣自治体の職員による公金の横領、着服といった不祥事が報じられています。が、相変わらず後を絶たない飲酒運転関連事件も含め、綱紀粛正により一層の心構えが求められているところであり

町民に対して公平、公正な行政サービスの提供を行う上でも、住民が信頼できるような職員や職場の環境づくりが急務であると考えます。

町長に求めたい行政サービスの提供をいかにして確保した行政執行の体制整備

【町長】 ご指摘のように、自治体職員による公金の不適切な管理等や飲酒運転により懲戒免職の処分を受けるなど、公務員に対する信頼を失墜する事態となっております。職員を見る町民の目も益々厳しいものがあると思

務内容が異なるため、何を基準として調査するのかなど難しい問題でもあると思



町長の訓示

②について、職員、臨時職員を含めての業務量の調査はこれまで実施したことはありません。業

この制度を導入して5年目を迎えましたので、これまでの実績や効果等も検証しながら、今後の在り方について検討していきたいと思



佐藤 勇 議員

人口減少・過疎化対策を

人口増加策を積極的に推進する

質問 地方圏から都市圏へと人口が流出し、地方の人口減少が進み、少子高齢、過疎化が全国的に大きな問題となつています。それに伴い地域コミュニティの維持、労働力、

社会保障制度、行政サービスなどの縮小など、様々な社会の仕組みに問題が生じ、今後更に財政が厳しさを増し自治体運営が困難になつていくものと思われます。「子どもを産

み育てやすいまちづくり」にするため、保育所の充実（完全無料化）、子育てしながら働き続けられる職場環境整備、男女ともに育児休業を取りやすくするなど、子育てに配慮した事業主の支援の促進、行政の取り組みが必要と思われますが町長の考えを伺います。

に基づいて各種サービスを実施しています。一部を紹介します。管内では最も長い時間の延長保育、個別的配慮を要する児童のための保育所助手の配置、無料送迎バス運行と添乗員の配置、階層に於いた保育料の軽減措置等は、他市町村と比較しても充実した内容と言います。

質問 縄文の女神に舟形の再生を願ひ、某テレビ番組で話題になつてゐるテレビお見合い大作戦で、新たな「結い」を生み出す企画をしてみては。

町長 町ではすでに10月中にテレビ局に申し込みをしております。しかし、応募条件が市町村単位であること、参加男性20名以上であること、経費として300万円から400万円を要すること、事前にテレビ局で男性の面接をすることとなつています。



ほほえみ保育園

町長 舟形町では、平成22年3月に次世代育成支援後期計画を策定しました。「子育てしやすい町」と「子どもを産み育てやすいまちづくり」のための様々な子育て支援の施策を展開しています。その中核的役割をなす保育所機能の充実については、計画を策定するに当たつて行なつた子育て支援に対する意識・ニーズ調査

また、子育てしながら働き続けられる職場環境整備、育児休業を取りやすくするなど、労働者、事業主、地域住民等の意識改革を推進するための広報、啓発等について、国・県などの関係機関と連携を図り、積極的に推進していかなければならぬと考えています。

現在、商工会青年部を中心に参加者を募る準備を進めてゐるところですが、募集についてはかなり困難も予想されます。

声 声

皆さんの声を掲載する欄です。議会に対するご意見・ご要望等、どうぞお気軽にお寄せくださるようお願いしています。

新年明けましておめでとございます。昨年はアメリカ、ロシア、中国をはじめ韓国、日本と世界の主要国の元首が新しく荒海に船出しました。今年は何の内外の諸問題を確実に一つずつ、解決に向けて前進させてもらいたいと思つています。昨日の続きが今日で、今日の続きが明日では何の進展もありません。東日本大震災、原発事故、トンネル事故など昨日と今日が全く違つた日になつた時、初めてこの重大さに気づかされるものであす。

舟形町も少子高齢化が加速度的に進み、老人福祉施設が増え、反対に学校が閉校になり、人が住まなくなつた廃屋が年々増えています。これからはこの現状を肯定し、町や集落の在り方を根本的に見直していかないと立ち行かなくなると思われます。今まではこうだつたからという思いを捨てて、小学校が一つになるこの節目の年に、新しい舟形町づくり元年の年にしていただくよう、議会の皆様方をお願い申し上げます。



町内会長
齊藤 弘一 さん
(富田第一)

総務振興常任委員会所管事務調査

(平成24年10月23日～24日)

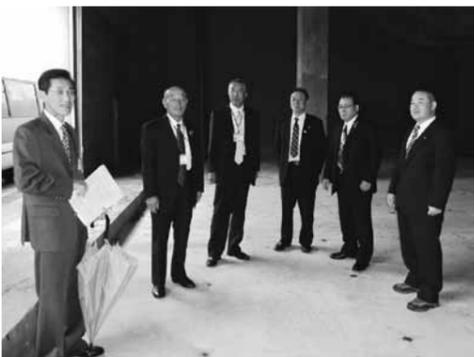
◎再生エネルギー施設研修
秋田県立横手青陵学院は、平成16年に開校した中高一貫教育の学校で、新設当初にNEDOの補助金を利用して、総工費1億2,856万円をかけて雪冷房施設を整備し、厨房、図書館、メディアホール等に冷風を送つています。

問題点として、自然融雪量が60～70%と割合が高いこと、保守点検費に年間20万円、氷室に雪を投入する費用として毎年50～60万円かかることがあげられました。

◎農業振興先進地研修

二子中央管農組合は、米、さつ芋、大豆をプロックローテーションにより栽培し、連作障害を受けないう形で三作物を栽培し定着させています。

米は、大手外食チェーン店に卸し、さつ芋は近隣に選別工場を持ち独自のブランド化を図るなどして高値での販売を実現しています。



貯雪ピット内 (青陵学院)



廃校後の体育館 (西和賀町)

文教民生常任委員会所管事務調査

(平成24年10月23日～24日)

・目的 廃校舎利活用の取り組み状況について
・研修地 岩手県西和賀町

「小規模多機能型ホーム『雪つばきの里』」130年の伝統がある小学校の廃校決定を受けて各地域の代表者が発起人となり「NPO法人新田郷」コミュニティ雪つばきの里」を設立し、平成24年6月に補助事業により、小規模多機能型居宅介護事業による高齢者施設として整備を行なつたものです。

施設の機能については、

- ①「通いサービス」を中心に介護状況に合わせて「宿泊・訪問サービス」を、24時間・365日「体制での介護サービス」を提供する施設
- ②地域の新たな拠点としてのコミュニティ施設
- ③災害時に地域の避難場所としての機能を備えており、利用希望者の見学や相談も増加傾向にあり、グラウンドなど地域交流の場所としても利用されている施設です。

今後は2階部分について高齢者向けアパートとして活用する計画でした。

第3回中学生議会

信夫議長挨拶

3回目となる中学生議会は、「イベントではなく、授業の一環として取り組む」という中学校の考えが、生徒たちに着実に浸透してきており、町議会としてもたいへん喜ばしく感じております。

今回の中学生議会も、3年生みんなで考えた「般質問や政策提言は「舟形町を良くしていく」という気持ちを感じられたすばらしい議会だったと思います。

明日の舟形町をみんなで考える契機となることを念願し、開催にあたりご協力いただきました関係各位に厚くお礼申し上げます。



議事を進める八鍬沙也夏議長

中学生議会議員名簿

議席	氏名
1番	磯谷 瑠香
2番	小國 悠斗
3番	平村 智咲乃
4番	沼沢 海優
5番	海藤 優知
6番	阿部 直喜
7番	庄司 貴明
8番	伊藤 眞美子
9番	齊藤 涼
10番	土田 夢舞
議長	八鍬 沙也夏

1番 磯谷 瑠香議員

① 猿羽根山体験実習館の利用状況はどうなっていますか。

② 町民グラウンドの整備を進めてほしいです。

町長 猿羽根山体験実習館の管理は、NPO法人東北エコリサイクルネットワーク研究会に委託して使用促進を図っています。委託後は利用人数・利用収入が増加しており利用の拡大を図りたいと思います。町民グラウンドの整備は、現状維持しながら利用しやすいよう管理していく方向で考えています。



7番 庄司 貴明議員

① 廃校になる施設の利用計画はどう考えていますか。使わなくなった建物は、出来るだけ早く壊したらいいと思います。

町長 小学校ごとに「小学校統合に係る各小学校の跡地利用検討委員会」を設置して活用について検討を進めています。また、町民の意見を幅広く集約するため、アンケート調査についても検討しています。

使用見込みのない建物は、残念ながら解体しても仕方ないと考えています。

8番 伊藤 眞美子議員

① 災害が起こった時の物資（食糧・生活用品）は、舟形町では準備されていますか。

② 町内の商店をもっと利用するための政策を充実させてほしいです。

町長 ① 昨年度に全ての公民館に発電機と投光器を配置しました。公民施設には担架や毛布、石油ストーブ、懐中電灯、電池等のほか約2000本のペットボトル飲料水を備蓄しています。

② 商工会を支援する形で、商店の活性化を進める政策をこれからも行いたいと思います。地元商店を地域で支えるという意識を共有できるように話し合ってくださいと思います。

平成24年11月2日、舟形町役場議場に開催されました。中学生の意見をまちづくりに反映する場として、また、地方自治に町議会が果たす役割を学び、この体験を通じてまちづくりに参加する楽しさを知ってもらおうと開催したものです。

参加者は舟形中学校3年生全員と町長はじめ町関係者。

11人の代表者が議員となり、立派にそれぞれの役割を果たしてくれました。

2番 小國 悠斗議員

① 町道沖の原長者原線の急な坂道の整備をしてほしいです。

② 街灯を増やしてほしいです。

③ 紫山地区の国道13号線と沖の原地区からの道路交差点に信号機を設置してほしいです。

町長 ① 道路は道路構造令に基づいた整備をしており、構造的に支障のない道路となっております。

② 増やしてほしい箇所があれば、町内会長を通して町に連絡してください。町、町内会で検討します。

③ 信号機の設置については、他の対策を含め警察と協議相談を進めます。

3番 平村 智咲乃議員

① 縄文の女神を常時舟形町で展示してほしいです。

② 舟形町のPRについて、これまでと違う新しいものを考えたら町が活気づくと思います。そのような考えがあるかお聞きします。

町長 ① 「縄文炎祭」のイベントに合わせて「里帰り展」を開催できるように、県にお願いをしています。

② これまでの人と人の交流に、物流や文化も加える「産消提携プロジェクト」の推進を行い、来町者の増を図ります。さらには、PRの発信の方法についてもインターネットツールの活用をさらに進めます。

9番 齊藤 涼議員

① 舟形町の福祉施設の利用状況と利用者数はどのようになっていますか。

② 光生園移設後の跡地利用についてお聞きします。

町長 舟形町の65歳以上の人口は1,968名、高齢化率32.22%で県内でも高い方です。介護を要する高齢者が多くおり、舟和会や徳洲会と協議して待機者の解消を進めていきたいと思います。

光生園の跡地利用については、舟和会と協議をしていきたいと思います。

10番 土田 夢舞議員

① 高校生の医療負担を軽減する考えはありませんか。

町長 高校生までの医療費無料化について、国や県の動向を注視しながら今後検討していきたいと考えています。

政策提言

4番 沼沢 海優議員

1. 「縄文の女神杯の創設」を

提案理由

縄文の女神杯スポーツ大会の企画により地域交流が活発になり、舟形町を全国に発信できると思います。

2. 「ボランティア団体の結成」を

提案理由

一人暮らしのお年寄りが増えており、雪かき等にたいへん苦労しているようです。

冬季間だけ、中学生・高校生・一般の方とボランティア団体を結成し、雪かき等の手伝いをするというアイデアがあります。



一般質問をする中学生議員

6番 阿部 直喜議員

① 若者の働く場所の対策をどのように考えていますか。

町長 最上管内の市町村が一緒になって企業誘致を進めています。町では雇用創出のため「ふるさと特養施設整備」を検討しています。その他、国の雇用対策を活用した雇用などを進めています。

5番 海藤 優知議員

① 雪エネルギーの具体的な活用状況をお聞きします。

② 舟形駅の清掃を中学校で行う場合はどうなりますか。

町長 ① 舟形町では、公共施設への雪冷房施設の整備、利雪型貯蔵のライスセンター、個人住宅での雪冷房システムの導入、雪室貯蔵の活用などを行ってきました。今後、公共施設整備の際に導入について検討していきます。

② 駅の清掃について中学生が行う場合は、町、JRCと協議が必要だと思います。是非お願いしたいと思います。

☆シリーズ

一般質問のゆぐえ

(平成23年3月定例会)

質問
町道福寿野岡矢場線について、県の方への県道編入と整備を要望した結果についてはどうなっていますか。

答弁
県道昇格という点では難しい状況であるという県の回答です。町の事業として、町道福寿野岡矢場線と福寿野沖の原線の改良工事になります。その財源を社会資本整備総合交付金事業とする計画の認定を国から受けようとしております。

現状
町道福寿野岡矢場線の道路改良につきましては、町で社会資本整備総合交付金事業の補助事業に申請するための調査、測量費を平成25年度予算に計上する予定です。その後、国の補助事業として採択となれば事業に着手することになります。



議会広報研修 (東京)

一 議会報編集委員研修会

(平成24年10月29日～30日)

東京都のシエンパツハ砂防会館で開催された町議会広報研修会に参加しました。
講師からは、「議会報は、議会活動に特化した内容にして行政広報とは切り離すこと。専門用語が多いので、議案の中身を詳しく掲載すること」などを聞き、改めて気づくことができました。
読んでもらうことが大切。子供から大人まで幅広く読んでもらうための工夫と、広報と公聴(アンケートなど)に結びつけるコミュニケーションを図りながら議会報づくりを行うことが大切であると感じました。これからも、町民の皆さんの声に、今まで以上に耳を傾けていきたいと思っております。

一 最上地区町村議会議員研修会

(平成24年10月12日)

戸沢村中央公民館を会場に最上地区の7町村議会議員研修会が開催され、最上総合支庁産業経済部長の渡辺一夫氏から「最上地域の農業の現状と今後の施策展開について」と題して講演をいただき研修を受けました。



最上地区町村議会議員研修会 (戸沢村)

一 舟形町議会まち活性化特別委員会

11月20日開催

地方自治法改正に伴い、舟形町議会として、会議規則の改正や条例で対応しなければならぬ部分が生じてきます。自治法改正に伴う各議会の対応は、施行後(平成24年9月5日)6か月を超えない範囲での施行を求められているので、平成25年の第1回(3月)定例会までに改正の内容についてどうするかを決めなければならぬため、特別委員会の中で協議しました。

主な改正内容

- 定例会・臨時会の区分を設けず、通年の会期にもできる
 - ※通年の会期は条例で定める日から翌年の当該日の前日までで、会議を開く定例会も定める
 - 議長等の臨時会の招集請求に長が応じないときは議長が臨時会を招集できる
 - 本会議も公聴会の開催・参考人の招致が可能になった
- この自治法改正については次の特別委員会で各委員の意見をまとめていきたいと思っております。
他に、議会中継システムについても検討しました。ホームページに掲載することにより議会中継を自宅などでも見ることが出来ます。導入経費がかかることから費用対効果なども考え検討していくことになりましたが、ご意見のある方はぜひお寄せください。



県町村議会議員研修会 (山形市)

一 山形県町村議会議員研修会

(平成24年10月15日)

山形市国際交流プラザを会場に県町村議会議員研修会が開催され、経済ジャーナリストの東谷暁氏から、「今後の日本経済・TPP・消費税問題」と題して、TPPに反対の立場から詳しく説明をいただきました。

また、政治ジャーナリストの泉宏氏からは「今後の政局動向」と題して、永年に亘り、永田町・露が関を見つけて来た経験を生かし、混迷が続く日本政治の今後の動向を話していただき、たいへん有意義な研修でした。



坂田先生の講演

1月11日開催

石巻専修大学の学長である坂田隆氏を講師に招き、「東日本大震災の経験・知見からの防災教育について」と題して講演をしていただきました。

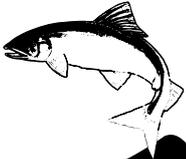
石巻専修大学では被災地域の防災と復興に関する事業を通じて、大学の研究と教育の高度化を図る「復興共生プロジェクト」を展開し、大学施設の提供、防災や復興に関する講演会、被災者支援、産業支援などを行なっており、地域と一緒に復興を目指している取り組みについて説明を受けました。

また、石巻地域の被害状況や現在の復興の様子について写真により詳しく説明を受けましたが、被災から一年以上経過した今なお、先行きの見えない不安な生活を余儀なくされており、この講演会を通じて、今回の東日本大震災の甚大さについて、改めて痛感いたしました。



シリーズ

舟形町に嫁いで来た、お嫁さん・お婿さんをご紹介します。



えがったなあ



□どんなきっかけで彼(ご主人)と知り合いましたか?
同じ高校の先輩でした。入学してすぐ「この人だ!!」と思いました。

□舟形町に嫁いで来て、どんなイメージを持ちましたか?
もう嫁いで3年目になるのですが、スゴイ行事が多いなあといつも思います。なわとび大会やスポーツ大会、それぞれの町内での行事など、人と人が集まる機会が多くていいことだと思います。

□舟形町での生活はどうですか?
とても幸せです!あたたかい家族に囲まれ、いつもにぎやかな毎日を送っています。野菜、果物もいつも食べられて幸せ!

□舟形町の良いところ・悪いところがありますか?
良いところは、子育てには本当にいい環境だと思います。特に保育園に入る前の子どもたちが集まる、ふれあい広場はとてもいい行事だと思います。いつも楽しく参加させていただいています。

悪いところは…夜遅くまで開いている店がないこと…ですね。

□舟形町に望むことはありますか?
子育て住宅をもっと増やしてほしいです。いつも抽選なので…

舟形町に嫁いで来たお嫁さんです。
今回は、新庄市から舟形第3に嫁いで来た佐藤さとみ(旧姓長澤)さんです。
皆さんよろしくお願いします。

お願い

「えがったなあ」に出てみませんか。
対象者は町外から嫁いで来たお嫁さん・お婿さんです。

(連絡先)
舟形町役場議会事務局
TEL 0233-32-2111(代)

編集後記

新年あけましておめでとうございます。
町民の皆様が幸福な年でありますようお願い申し上げます。

今年も豪雪に見舞われておりますが、地域の絆で乗り越えていってほしいと願っています。

国政においては、政権交代により国民の期待は大きいものがあります。是非期待に応えてほしいものです。

これからも、皆様に読んでいただける「議会広報」づくりに努めていきます。

皆様のご意見をお待ちしております。
寒い中ですが、健康に留意し、お過ごしください。
(奥山 謙三記)

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 議長 | 信夫 正雄 |
| 委員長 | 加藤 憲彦 |
| 副委員長 | 奥山 謙三 |
| 委員 | 佐藤 広幸 |
| | 斎藤 好彦 |
| | 佐藤 勇 |